

びいあらいぶ Be Alive!

2017年 1月 2 月号

発行元：パルシステム共済生活協同組合連合会
共済事業部『びいあらいぶ』編集委員会

パルシステムの保障

<http://www.palsystem-kyosai.coop/>

パルシステムの保障

検索

● 次回『びいあらいぶ』は2017年3月1回

組合員どうしでよりよい暮らしづくりを——

パルシステムの「たすけあい活動」

パルシステム共済生活協同組合連合会(パルシステム共済連)は共済など保障商品の取り扱いを中心に、組合員がより豊かで健康的な暮らしを送るためのお手伝いをしています。

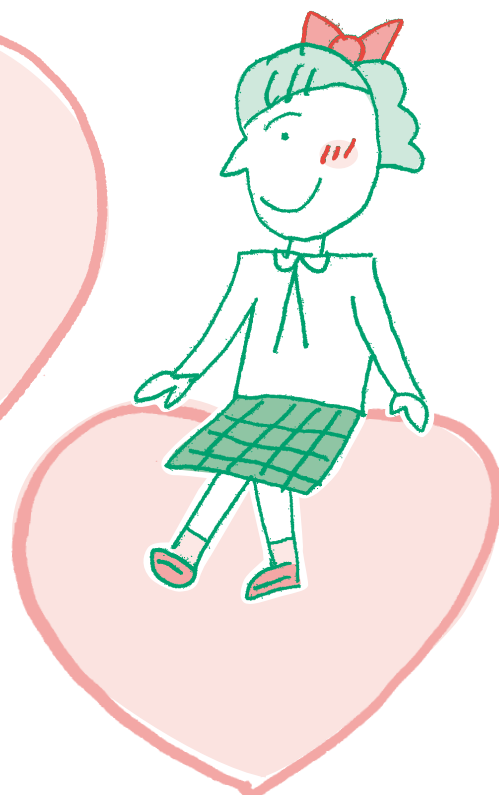
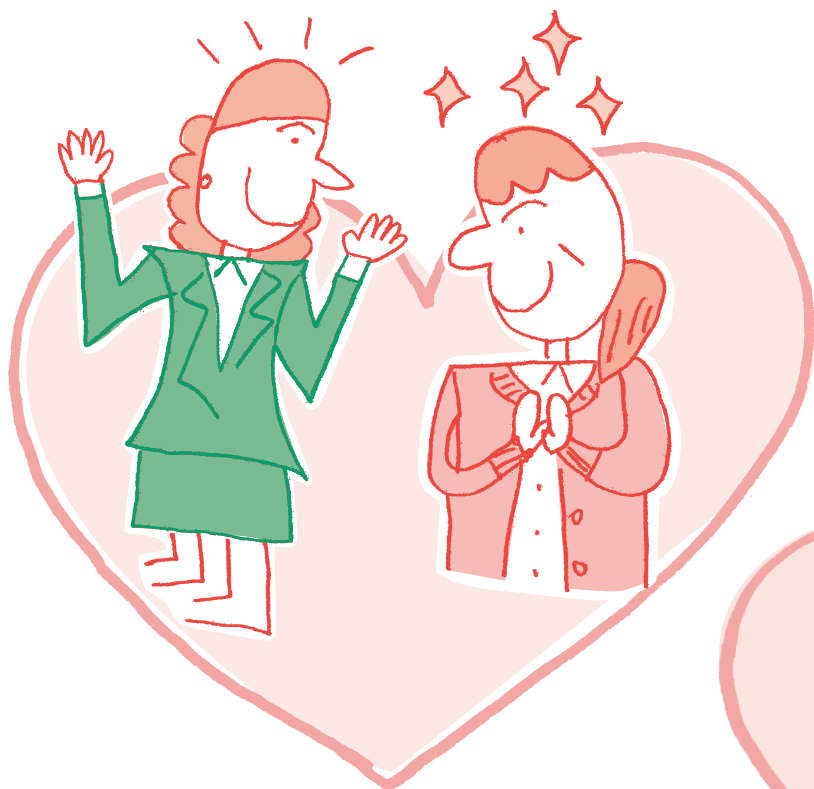
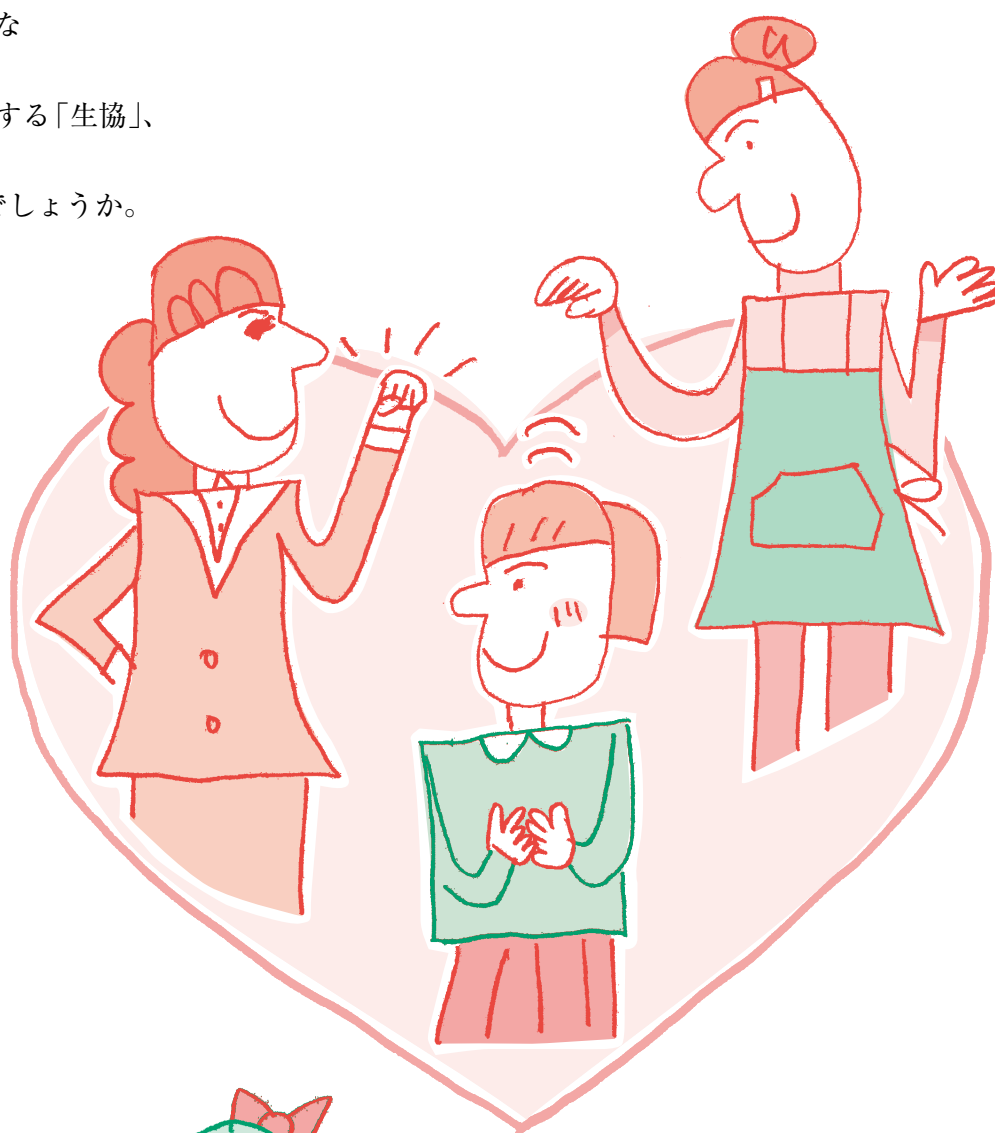
組合員一人ひとりの力をあわせて、よりよい暮らしを実現する「生協」、そして「共済」の仕組み。

実際にどのような形で私たちの暮らしに役立っているのでしょうか。

“共助”の考えを大切に

「自助／共助／公助」という言葉があります。「自助」とは、自分自身に何か困ったことが起きたとき自分の力で問題を解決することを指し、「公助」とは税金を使った行政などのサービスに助けをもらうことを指します。その中間にあるのが「共助」。自分だけではどうにもできないことを、市民どうしで支えあい助け合って解決していく、という考え方です。

「共済」とは、この「共助」の考え方から生まれた、助け合いの精神にもとづいた保障の仕組みなのです。



健康で幸せな毎日のために

くらしを保障する公助の仕組みとしては、年金制度などの社会保険制度がありますが、近年では公的年金の受給額の引き下げなどもあり、個人でのリスクへの備え(自助)の必要性が高まっています。そのような背景のなか、パルシステム共済連は地域社会の共助の仕組みづくりへの寄与を目指し、たすけあい活動(暮らしのリスクを軽減し、健康で幸せな毎日を送るために組合員どうしが地域で行う活動)をサポートしています。

大切なのは万が一への備えだけではないから――

「たすけあい活動助成金」について。

一人ひとりの思いを集めて 大きな形に

組合員が地域で行うたすけあい活動をサポートするため、パルシステム共済連では「たすけあい活動助成金」制度を設けています。

これは、共済に加入している組合員からお預かりした掛金の中から、保障を受ける人へ支払う共済金や運営費を除いた「剰余金」の一部を、組合員が地域で行う活動へ資金助成する制度です。

毎年、組合員の健康づくりやくらしづくりの助けとなる活動を会員生協から募集し、審査を行って助成対象を決定しています。審査を行うのは、パルシステム共済連の理事会の下に設置した「たすけあい活動委員会」です。委員の半分は会員生協の組合員理事から構成されており、実際に活動に携わる組合員によって審査が行われています。



2015年度は**61の活動**に対して
合計で**約916万円**の
助成を行いました。
助成を行った活動の一部をご紹介します。

	総活動数	内 訳			総活動数	内 訳	
		活動A	活動B			活動A	活動B
パルシステム東京	7	5	2	パルシステム山梨	8	3	5
パルシステム神奈川ゆめコープ	8	5	3	パルシステム群馬	5	3	2
パルシステム千葉	6	3	3	パルシステム福島	8	2	6
パルシステム埼玉	7	5	2	パルシステム静岡	4	1	3
パルシステム茨城	8	4	4	合計	61	31	30

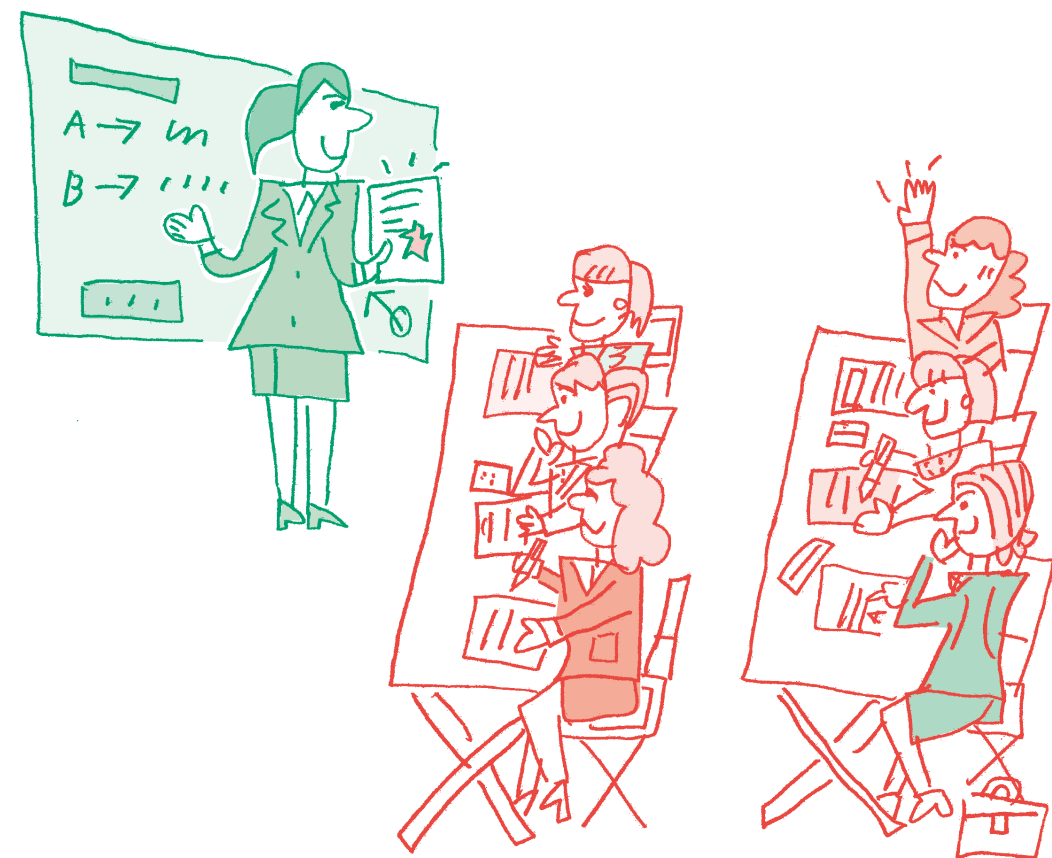
●活動A…子育て支援、家事支援、福祉活動、ライフプランニング活動 ●活動B…健康維持活動

助け合いは “私のくらし”づくりのため

これまで助成を行った活動は、「子育て支援」「家事援助」「福祉活動」「ライフプランニング活動」「健康維持活動」と多岐にわたり、組合員の皆さんからお預かりした共済の掛金は、暮らしに役立つ活動に活用されています。

ケガや病気といったくらしのリスクに「お金で備える」方法の一つが共済ですが、一方でケガや病気を未然に防ぐための知識や方法の習得が必要だと考えています。そのため、パルシステム共済連では、特に「健康維持活動」についてケガや病気の予防・早期発見のための学習会開催等のお手伝いを積極的に行っています。

お預かりした共済の掛金が、組合員の皆さんの「より幸せなくらしづくり」にさらに広く役立てられるよう、今後またすけあい活動委員会を中心に助成金制度の適切な運営を行っていきます。



パルシステム共済連から 活動のご報告

ライフプランアドバイザー (LPA)による学習会 《女性の働き方と税金年金講座》を開催しました

- 開催日…2016年6月22日(水)
- 会場…蘇我コミュニティセンター
- 講師…パルシステム千葉 組合員LPA 熊坂裕子さん
- 参加組合員…30名

千葉市の蘇我コミュニティセンターを会場に、LPA講師による「女性の働き方と税金年金講座」が開催され、30名の組合員が受講しました。まずは基本的な用語の説明を行い、わからない用語で混乱しないよう理解したうえで、税金の計算の仕方について、一つひとつ講師と確認しながら計算することにより、税金の計算方法や

※LPA…日本コープ共済連の基礎講座を受講しLPA(ライフプランアドバイザー)として認定された組合員

年収による税金の違いについて学習することができました。これから働き始める女性参加者からは「配偶者控除等に関するメリット、デメリットなどについて考えるきっかけとなった」という感想が出るなど、参加した組合員から感謝の声もいただきました。



学習会の様子

たすけあい活動による「保養プログラム」を 応援しています

福島県内にはいまだに放射線量の高い地域があり、子どもたちはそのような心配の中で暮らし、放射線量を確認した場所でもか遊べないという状況が続いており、見えないストレスを抱えています。パルシステムでは2012年度から福島在住の親子を対象に保養活動を実施。この保養プログラム※は、子どもだけでなく保護者のストレス軽減にも大きな効果があります。2017年以降も、春休みや夏休みなどの長期休暇を活用した保養に加え、週末を活用した「週末保養」も実施していきます。

※パルシステムを通じて、CO・OP共済連《たすけあい》へ加入していただくことで、新規加入1件あたり50円を、福島の子どものための保養プログラムへ活用させていただきます！



週末保養の様子

パルシステム共済連には、パルシステムの組合員が地域で行う

「たすけあい活動」を資金面でサポートする、「たすけあい活動助成金」制度があります。これはどのような制度で、また、どのような活動が行われているのでしょうか。

パルシステム埼玉



認知症に関する講座 「演劇で知る、認知症のこと」

活動内容

NPO法人認知症ケア研究所の協力のもと、さまざまな形で認知症への理解を深める講座を開催しました。まず、看護師の方から認知症患者の行動や心理状態、認知症の予防などについてのお話を聞き、続いて、同研究所スタッフの方々による認知症患者と家族を描いた寸劇を鑑賞。劇後には演目中にあった認知症の症状にどう対処すればいいかのアドバイスもあり、認知症の方への声かけや日常生活での対応の仕方を学びました。



パルシステム東京

地域に広がる居場所づくりと担い手づくり

パルシステム山梨

くらし見直し講演会『「しあわせ家計」のつくり方』

パルシステム福島

ばるっこクラブ運動会

パルシステム静岡

高齢者と子どもたちの交流の場「お茶の間ミーティング」

その他の活動はパルシステム共済連のホームページで紹介しています。ぜひ、ご確認ください。

パルシステム共済連 たすけあい活動助成金

検索

<http://www.palsystem-kyosai.coop/organization/kyousairen/csr/tasukeai>

パルシステム神奈川ゆめコープ



ロコモティブシンドローム講座 ―筋力アップでアンチエイジング―

活動内容

一般社団法人美立健康協会の協力のもと、健康寿命を延ばして毎日を生き生きと前向きに過ごすための講座を開催しました。スクワットやストレッチ、背骨ほぐしなどを行う「ロコモ体操」や、食習慣を気遣うことの大切さについて学び、参加者は元気に自分らしく生活するためのヒントを得ることができました。



パルシステム千葉

女性の健康講座「メノポーズ(更年期)を知って毎日をイキイキと過ごしましょう」

パルシステム茨城

ピンクリボン講演会「突然がんと告知されたら、どうする？どうなる？」

パルシステム群馬

子どものための健康づくり講座「バナナうんちで元気な子」